

盛岡市内水ハザードマップについて

令和5年3月7日

上下水道局

1 趣旨

盛岡市内水ハザードマップは、平成30年に盛岡駅周辺及び合流式下水道区域の約563ha（以下「市中心部マップ」という。）を公表しているが、盛岡市全域の内水ハザードマップ作成の要望が高まっていることから、過去の浸水実績等をもとに、雫石川から南側かつ北上川から西側地区の約1,784haの内水ハザードマップを新たに作成し、公表するものである。

2 作成の目的

近年、局地的大雨等短時間に強い雨が降ることが多くなっており、降雨が下水道の排水能力を一時的に上回る事等による内水浸水が発生する危険が増加している。このことから内水浸水による被害を最小化するため、浸水の発生が想定される区域や、避難に関する情報等を市民に分かりやすく提供する内水ハザードマップを作成し公表を行うものである。

浸水被害を軽減するためには、排水施設の整備によるハード対策を進める一方で、自助・共助を促進するためのソフト対策も重要であり、内水ハザードマップを作成し、内水による浸水に関する情報を住民・行政間で共有することにより、平時からの住民の防災意識向上に資することを目的とする。

内水浸水：河川水位の上昇や下水道の排水能力を一時的に上回る降雨により起こる浸水。

外水はん濫：河川の増水により堤防から水があふれる、又は堤防が決壊することにより起こる浸水。

3 内水ハザードマップの概要

(1) 内水ハザードマップの構成 地図面と情報・学習面で構成（A1八折りによるA4サイズ）

ア 地図面記載事項：浸水想定区域、浸水深及び避難施設等

イ 情報・学習面記載事項：内水浸水と外水はん濫（洪水）のちがひ、水害に備えた事前の心構え等

(2) 浸水解析に用いた条件

ア 降雨の条件：想定最大規模降雨（1時間120mm）を採用。国土交通省が過去の観測記録等をもとに全国を15地区に分類し、平成27年7月に公表したもので、盛岡市は東北東部地域に含まれる。（市中心部マップと同様の条件設定）

※過去の大きな降雨 1時間62.7mm（昭和13年8月15日）、同62.5mm（平成28年8月2日）

イ 放流先河川水位：放流先河川の計画高水位を採用。（市中心部マップは氾濫危険水位を採用）

※北上川明治橋観測所の例 計画高水位4.15m、氾濫危険水位3.00m

1990年以降の最高水位2.63m（平成19年9月17日）

4 今後の取組

内水ハザードマップは順次作成区域を拡大し、将来的に市内全域（公共下水道事業計画区域）の作成を目標とする。

5 今後のスケジュール

令和5年4月 ホームページでの公表

令和5年6月以降 対象地区での説明会、全戸配布（対象地区内）

盛岡市 morioka city

ないすい

内水ハザードマップ

内水ハザードマップ対象区域
盛南・仙北・都南地区
国道4号周辺区域

このマップは、大雨時に下水道管や水路からの浸水(内水浸水)が想定される区域の浸水の深さや、防災に関する情報などをまとめたマップです。平常時からの防災意識の向上や浸水発生時の円滑な行動に活用していただくため、内水ハザードマップを作成しました。

●わが家の避難場所

避難場所	家族の集合場所
------	---------

●家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	電話番号	メモ(職場や近隣の連絡先など)

内水浸水と外水はん濫(洪水)のちがい

大雨が降ると、既存の下水道の能力では排水できなくなり、土地や道路が冠水することを内水浸水といいます。内水浸水は規模が小さく、浸水範囲が点在することが特徴です。これに対して、外水はん濫(洪水)は河川の堤防から水があふれるなどして、広範囲にわたって浸水することが特徴です。



雨の強さと降り方の目安

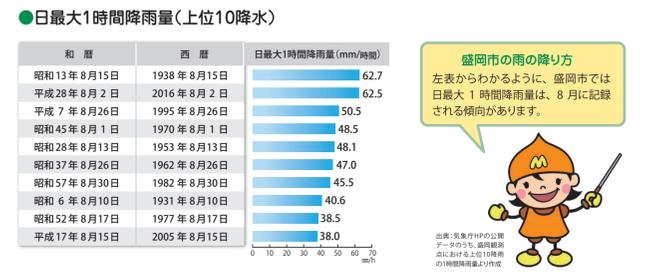
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨量(1時間雨量)	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
雨の降り方	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返すように降る	滝のように降る(ユゴと降り続く)	滝のように降る(ユゴと降り続く)恐怖を感じる
地面からの跳ね返り	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる	傘は全く役に立たなくなる	傘は全く役に立たなくなる	傘は全く役に立たなくなる
人への影響	傘をさして濡れる	傘をさして濡れる	傘をさして濡れる	傘をさして濡れる	傘をさして濡れる
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞けない	寝ている人の半数くらいが雨に気づく	寝ている人の半数くらいが雨に気づく	寝ている人の半数くらいが雨に気づく	寝ている人の半数くらいが雨に気づく
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようなようになる	水が流れてあたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	水が流れてあたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	水が流れてあたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
車に乗っている	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	車の運転は危険	車の運転は危険

マイ・タイムラインを作成してみましょう!

マイ・タイムラインとは、水害に備え、一人ひとりが、どのタイミングで、どのような避難行動をとるかを時系列に整理した避難行動計画のことです。各家庭の状況に応じ、避難のタイミングをあらかじめ決めておくことで、災害時の適切な行動につながります。災害時の連絡手段や近隣の避難先、避難経路について家族で話し合い、避難行動判定フローや警戒レベルを参考にしながら事前に作成しておきましょう。



過去の総雨量と想定被害



自主防災のすすめ

●自主防災組織における防災訓練

地域住民が協力(共助)して、救助活動や避難誘導、避難所の運営補助などの防災活動を行う組織が「自主防災組織」です。地域の皆様におきましては、防災力の向上を図るために、自主防災組織の防災研修や防災訓練へのご参加をお願いします。

●盛岡市のほかのハザードマップ

盛岡市では、内水ハザードマップのほか以下のハザードマップを作成しています。

- 盛岡市防災マップ
- 盛岡市土砂災害ハザードマップ
- 盛岡市ため池ハザードマップ

https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/bousai/hazardmap/index.html

●盛岡市防災マップ

盛岡市は、これまでの防災マップや各ハザードマップを統合し、主要河川の洪水浸水想定区域などの情報を反映した新たな「盛岡市防災マップ」を平成30年に作成しました。災害が発生したときに、自分自身と家族の身を守るよう、普段から災害に対する準備を行うとともに、災害に関する知識を正しく理解し、適切な安全に避難行動をとるための手引きとなるものです。自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難場所や避難経路の確認など、ご家庭や地域内での防災の取り組みにご活用ください。

▶ 盛岡市 HP 盛岡市防災マップ
https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/bousai/hazardmap/1024098.html

非常用持出品を用意しましょう!

家族構成にあわせ、必要最小限の非常用持出品をいつも持ち出せるよう、リュックなどに入れて準備しておきましょう。また、被災後の生活を支えるため、1人あたり7日分(最低でも3日分)の水、食料生活用品などの備品を準備しておきましょう。

非常用持出品	避難時に持ち出すもの	備品	復旧までの数日間分準備するもの
<ul style="list-style-type: none"> 生活必需品 救急医薬品 非常食 貴重品 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯ラジオ 懐中電灯 予備の乾電池 水筒 紙コップ 紙皿 割りばし 缶切り 万能ナイフ ペットボトル 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙 洗面用具 洗濯機 カセットコンロ(燃料) ライター フード付雨カッパ 煎鍋道具 石けん 生理用品 万能ナイフ 布ガムテープ タオル 軍手 ろうそく レジャーシート ひも レップ、スリッパ ティッシュ ラップ・アルミホイル 簡易トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> 現金(小銭も) 預貯金通帳 印鑑 家・車のキー 各種カード 携帯電話 免許証・保険証のコピー 飲料水(1人1日3リットル) アルファ米 缶詰 調味料 レトルト食品 チョコレートなどの菓子類

事前に危険な場所などを確認しましょう!

●自宅周辺の危険箇所
●避難先や避難経路

この内水ハザードマップや既に配布しているハザードマップを確認し、複数の避難経路を家族で相談しましょう。

避難時は服装にも配慮しましょう!

●安全で動きやすい服装

- ヘルメットや防災ずきん
- リュックサック
- 長袖・長ズボン
- 軍手や革手袋
- 履き慣れた靴
- 雨風対策にレインコート・防雨具
- 小さい子供にはおんぶ紐

食料や飲料水などを備蓄しておきましょう!

●最低でも世帯人数の3日以上を備蓄

「非常用持出品」一覧表を参考に必要なものを用意してリュックに入れ、すぐに持ち出せる場所においておきましょう。

●ローリングストック(家庭内流通備蓄)しましょう

カップ麺やレトルト食品など日持ちする食品を少なめに蓄え、消費した分を買い足しながら、効率よく備蓄しましょう。

防災・避難情報の流れ

●防災・避難情報の伝達方法

高齢者等避難などの避難情報は下図のように市民のみなさんに伝達されます。伝達方法を確認しておきましょう。

災害時の情報入手方法

テレビで調べる

▶ テレビのデータ放送
気象、災害関連情報、盛岡市の避難情報などを確認することができます。リモコンのdボタンを押すとデータ放送画面に切り替わり、情報を確認できます。

インターネットで調べる

▶ いわて防災情報ポータル
<https://iwate.secure.force.com/>
県で発表している緊急情報や災害対応状況、県内の気象情報や避難情報など、県内の情報を確認することができます。

▶ 逃げなきヤコール
<https://www.mlit.go.jp/riveririsp/policy/33nigecall.html>
離れた場所に暮らす高齢者等の家族に危険が差し迫った時、家族が直接電話をかけて避難行動を呼びかけることができるサービスです。

▶ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/>

▶ 盛岡地方気象台
<https://www.jma-net.go.jp/morioka>

NTT災害用伝言ダイヤル利用方法

電話
NTT災害用伝言ダイヤル(171)利用方法
171をダイヤルして発信し、1分以内のメッセージを録音して送信することができます。

インターネット
災害用伝言簿(Web171)利用方法
<https://www.web171.jp>

避難の心得

- 避難する前にすること**
 - ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。
 - 事前に決めた避難経路が安全か確認しておく。
 - 荷物は最低限にし、近所の人に行き先を伝える。
 - 家族が不在の時は、連絡先などのメモを残し、戸締りをして家を出る。
- 正確な情報収集と早めの避難**
 - テレビラジオ、インターネット等で最新の気象情報、避難情報入手。
 - 危険を感じたら、自主的に避難を開始する。
- 近所で声をかけて、みんなで逃げる**
 - 普段から、近隣と避難方法の相談しておく。
 - 災害時には地域で協力し、自力で避難できない人(高齢者、障がい者、乳幼児や妊婦、外国人)の避難を支援する。
 - 避難時には近所で声をかけて、みんなで逃げる。
- 避難時には足元や水深に注意**
 - 避難時には服装にも配慮する。 ※⑥ページ「避難時には服装にも配慮しましょう!」
 - 水面下には、ふたの外れたマンホールや側溝など、危険な場所があるため注意。
 - やむを得ず水の中を移動する時は棒などで足元を確認する。
 - くまふし程度の水でも、流れが激しい場合は歩行せず高いところで救援を待つ。
- 避難に車はできるだけ使わない**
 - 水深30cm以上で車は走行できなくなり、50cm以上で車が浮いたり水圧でドアが開かなくなる。(緊急時に備えて車内にハンマーを用意しておきましょう。)
 - 多くの人が車で避難すると渋滞し、緊急車両が通れなくなる。
 - 立体交差(アンダーパス)などが浸水していると、立ち往生して出出できなくなる。
- 避難が遅れた場合の緊急対応**
 - 夜間や境界が確保できない場合や、水の流れが激しいときは無理に動かない。
 - 近くの丈夫な建物や、がけや沢から離れた自宅の上階などへ移動する等、命を守る行動を心がけましょう。

内水ハザードマップ

盛南・仙北・都南地区
国道4号周辺区域



◆このマップについて

内水ハザードマップとは、下水道の排水能力を上回る極端な降雨や、河川の水位上昇によって雨水を排水できない場合、内水による浸水の発生が想定される区域や、避難に関する情報等を示したものです。

あらかじめ家や職場、学校からの避難所までの経路や、非常時の連絡方法などを確認しておきましょう。また、大雨のときには雨の降り方や周りの浸水状況などに注意し、危険を感じたら早めに避難するなど、安全な避難行動に努めましょう。このハザードマップをその一助として活用ください。

なお、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

また、本ハザードマップは内水に関する情報を掲載したマップです。災害時には、常に最新の情報を整理しながら、本マップだけでなく盛岡市が発行している「盛岡市防災マップ」も併せてご確認ください。

解析条件 (シミュレーション条件)

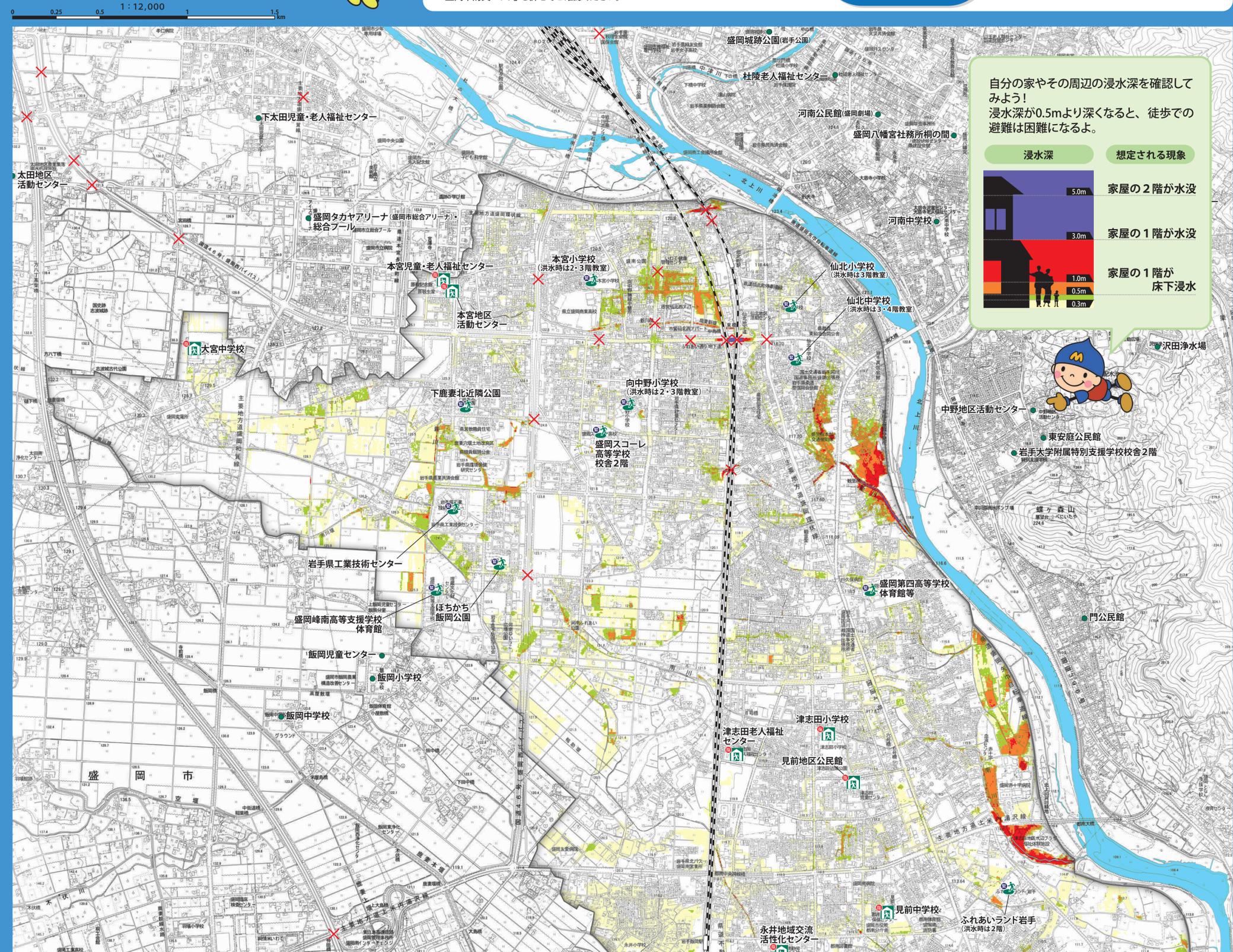
盛岡市で
想定される最大降雨

120mm/1時間

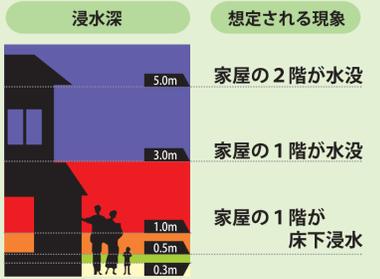
※国土交通省「平成27年7月想定最大外力の設定手法」により設定された値
62.5mm/1時間(平成28年8月2日)の降雨波形を、想定最大降雨120mm/1時間に引き延ばして解析。

◆凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 区域外の洪水時の指定緊急避難場所及び指定避難所
- 地下歩道やアンダーパスなど
- 浸水想定シミュレーション対象区域
- 鉄道・駅



自分の家やその周辺の浸水深を確認してみよう!
浸水深が0.5mより深くなると、徒歩での避難は困難になるよ。



指定緊急避難場所 および 指定避難所

施設・場所名	住所	避難場所等の区分
仙北小学校(校舎3階教室)	盛岡市仙北2-19-1	緊
仙北中学校(校舎3・4階教室)	盛岡市仙北3-18-1	緊
本宮小学校(校舎2・3階教室)	盛岡市本宮2-25-1	緊
大宮中学校	盛岡市本宮字大宮5-1	指
本宮地区活動センター	盛岡市本宮4-38-26	指
本宮児童・老人福祉センター	盛岡市本宮4-38-26	指
向中野小学校(校舎2・3階教室)	盛岡市向中野2-39-27	緊
下鹿妻北近隣公園	盛岡市向中野3-34-1	緊
盛岡スコール高等学校校舎2階	盛岡市向中野5-5-1	緊
岩手県工業技術センター	盛岡市北飯岡2-4-25	緊
ほちかち飯岡公園	盛岡市北飯岡2-16-50	緊
盛岡第四高等学校体育館等	盛岡市津志田26-17-1	緊
津志田小学校	盛岡市津志田中央1-8-40	指
津志田老人福祉センター	盛岡市津志田西2-16-90	指
見前地区公民館	盛岡市津志田中央2-9-1	指
ふれあいランド岩手(2階)	盛岡市三本柳8-1-3	緊
見前中学校	盛岡市津志田14-34	指
永井地域交流活性化センター	盛岡市永井23-14-1	指
都南公民館(チャラホール)	盛岡市永井24-10-1	指
見前小学校	盛岡市西見前18-17-2	指
見前南小学校	盛岡市西見前13-167	指
見前南中学校	盛岡市西見前16-73	指
盛岡峰南高等支援学校体育館	盛岡市下飯岡11-152	緊

※災害時にはすべての避難所が開設されるとは限りません。事前に複数の避難所・避難場所を確認しておき、避難経路を考えておきましょう。

◆特に注意する場所

地下道・地下室

局地的な集中豪雨が発生すると、地下空間では、考えられないような浸水被害が発生します。

- 地上が冠水すると、一気に水が流れ込んできます。
- 流れ落ちる水で階段は登れません。
- 水圧でドアは開きません。
- 浸水すると電灯が消え、真っ暗になります。
- エレベーターは使えません。
- 安全と思いつま、外の状況把握しましょう。
- 大雨が予想されるときは、常に最新の気象情報を収集し、被害が想定される地下へは近づかないようにしましょう。

地下では外の状況が分かりません

アンダーパス

周辺の地面より低くなっている「アンダーパス」は、大雨のときに水が溜まりやすい構造になっています。クルマで通過しようとする、エンジンが止まって動かなくなるなど、いつも通る道路が突然危険な場所へと変わります。

また、奥の状況が不明な場合がありますので、大雨のときはアンダーパスへの立ち入りは避けましょう。

問い合わせ先
盛岡市上下水道局下水道整備課
盛岡市愛宕町6番8号 TEL: 019-623-1421 FAX: 019-604-1112
ホームページ <https://www.morioka-water.jp>